

令和元年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

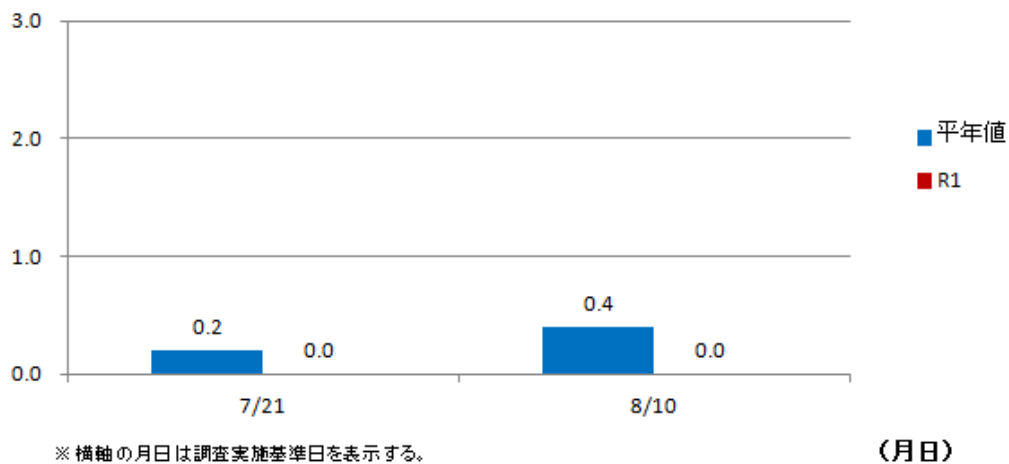
1. 水稻の生育および病虫害発生調査結果（第4回）

1) 水戸市の調査結果

調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月18日	8月7日

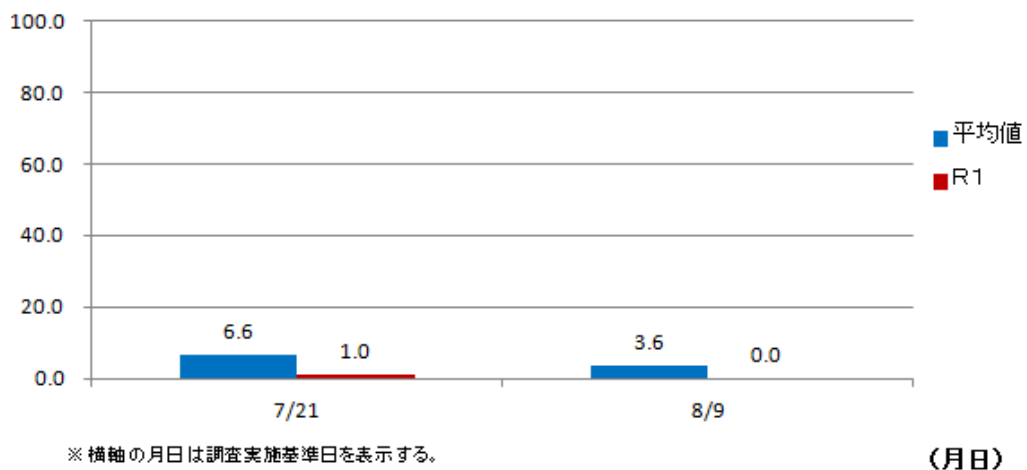
カメムシ類

(虫数)



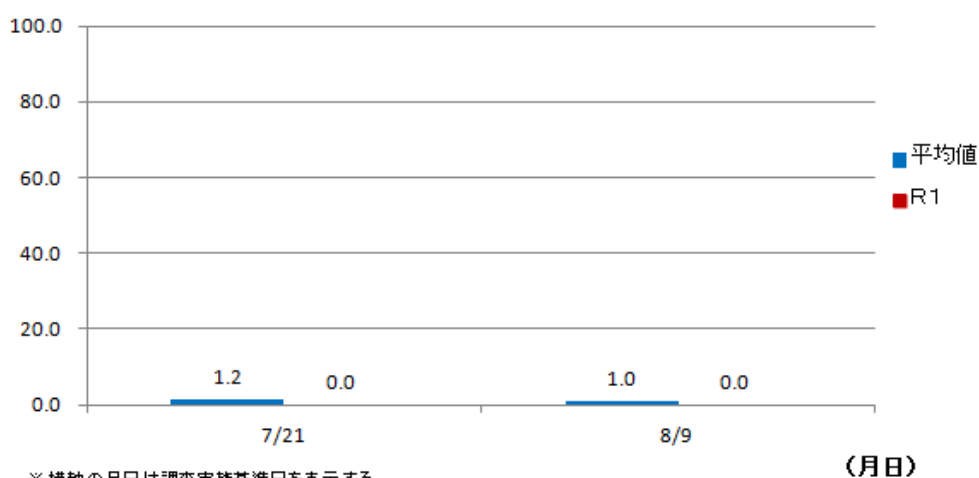
葉いもち病

(発病度)



紋枯病

(発病度)



※ 横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成 26～30 年の 5 年間の平均値

○病害虫発生調査結果について

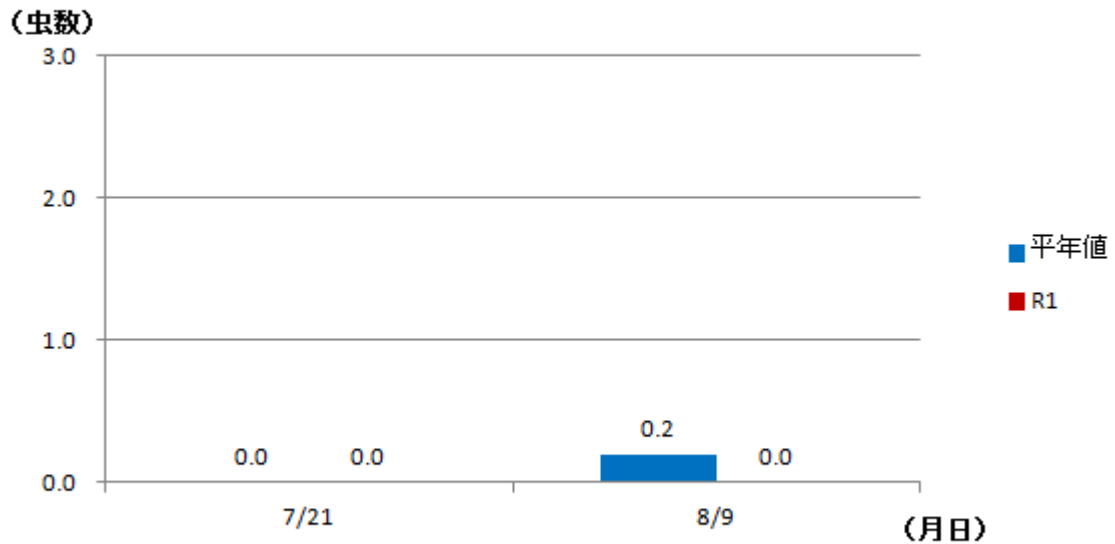
カメムシ類の発生は見られていませんが、県内では発生が多い状況ですので注意してください。カメムシ類の成虫を穂揃期に確認した場合は、防除を行います。また、幼虫を対象とした防除適期は、乳熟期（出穂後 10～15 日頃）です。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要となります。

葉いもち及び紋枯病の発生も見られていません。近年、県内における紋枯病の発生及び発病度が増加・重症化の傾向にありますので注意してください。対策としては、株元（水際部）で初期発生が見られたら、幼穂形成期から乳熟期にかけて薬剤防除を行います。

2) 茨城町の調査結果

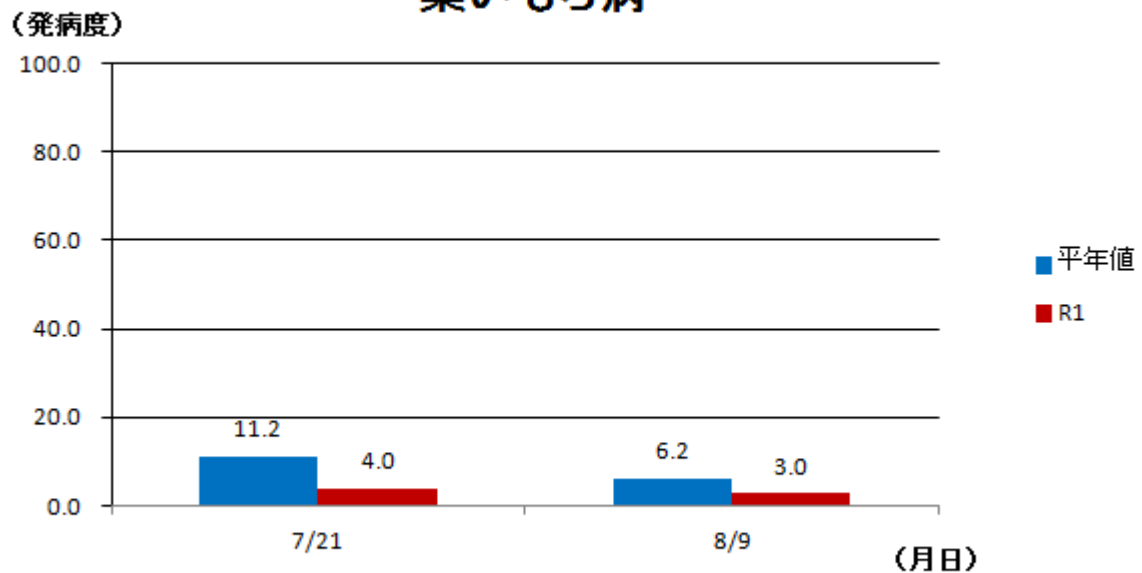
調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月12日	8月7日

カメムシ類



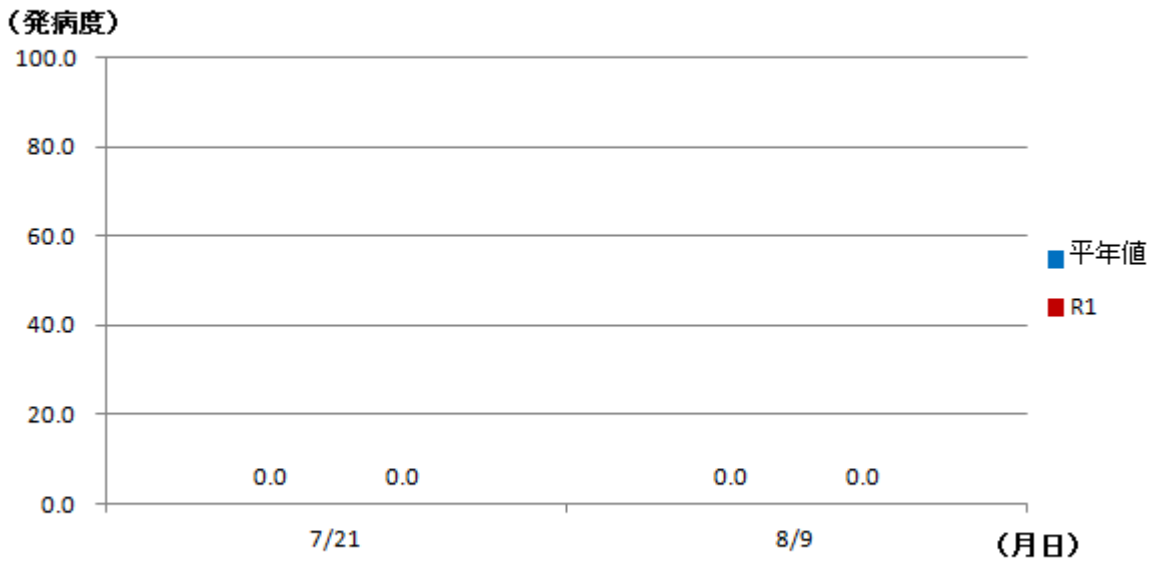
※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

葉いもち病



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

紋枯病



※横軸の月日は調査実施基準日を表示する。

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は平成26～30年の5年間の平均値

○病害虫発生調査結果について

カメムシ類の発生は見られていませんが、県内では発生が多い状況ですので注意してください。カメムシ類の成虫を穂揃期に確認した場合は、防除を行います。また、幼虫を対象とした防除適期は、乳熟期（出穂後10～15日頃）です。斑点米の発生を防止するためには、特に幼虫防除が重要となります。

葉いもちの発生が平年値を下回っていますが、少程度見られています。今後の天候は、高温が予想されているため、本病が進展する可能性は低いと考えられます。次年度以降の対策として、出穂前に葉いもち病の発生が確認できるようであれば、穂いもちに移行しないよう予防的に防除することをお勧めします。

紋枯病の発生は見られていません。近年、県内における本病の発生及び発病度が増加・重症化の傾向にありますので注意してください。対策としては、株元（水際部）で初期発生が見られたら、幼穂形成期から乳熟期にかけて薬剤防除を行います。

2. 次回調査予定日

収穫期

茨城県農業共済組合連合会調べ
協力：茨城県農業総合センター